

	<p>学校だより 令和6年12月2日</p> <p>はなぐりみなみ</p> <p>12月^{しわす}(師走) 草加市立花栗南小学校</p>	<p>学校教育目標</p> <p>考える子 思いやりのある子 体をきたえる子</p> <p>「あいさつ運動」発祥の地 あいさつじまん</p>
---	--	---



「自分を大切に 周りの人も大切に」

校長 小林和美

師走に入り、今年もあと1ヶ月となりました。校庭の木々もすっかり色づき、落ち葉を踏みしめる音が聞こえてきます。朝夕も冷え込むようになってきて、手袋やマフラーに身を包んで登校する子ども達の姿も見られます。しかし、半袖で1年間を過ごす子もいて感心させられます。

さて、12月4日から人権週間が始まります。これは、国際連合で1948年(昭和23年)12月10日の第3回総会において、世界人権宣言が採択されたことに由来します。世界人権宣言は、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として採択されました。1950年12月4日の第5回総会では、世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」と定め、全ての加盟国及び関係機関が、この日を祝賀する日として、人権活動を推進するための諸行事を行うように、要請する決議を採択しました。日本では、法務省と全国人権擁護委員連合会が世界人権宣言の採択を記念し、1949年に毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)を、「人権週間」と決めました。本校でも子ども達の発達段階に基づいた年間指導計画のもと人権教育を進めています。

11月13日に「CAPとらいあんぐる」の方がご来校くださり、4年生がクラスごとの学習会に参加しました。CAPとはChild Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったもので、子ども達がいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るための人権教育プログラムです。このプログラムでは子どもたちの発達段階にふさわしい寸劇や討論などを盛り込んで、子どもを怖がらせることなく暴力防止の具体的な対処法を学ばせます。従来の「～してはいけません」式の危険防止教育とは根本的に異なり、「～することができるようになる」と自分を守るための行動選択を練習します。『安心、自信、自由』の人権を子ども達に繰り返し伝えることで、全ての子どもたちが本来持っている「生きる力」を引き出すプログラムです。

人権問題にはさまざまなことがあります。子ども達には「自分を大切にすること」「周囲の人を大切にすること」とあわせて、「自他ともに命を大切にすること」をしっかりと考えてほしいと思います。命は当然のことながらひとつしかありません。そのかけがえのない命(自分を含め周りの人の命)を大切に、精一杯生きていくことが大切だと思います。そうすると、たくさんの喜びを味わうことができ、多くの楽しい経験をすることができるのではないかと思います。

ぜひ、ご家庭でもお子さんのがんばりやよさを認めていただくとともに、お子さんの友だちのよさやがんばりをも話題にしながら、人権感覚を育成していただきたいと思います。

2学期も残りわずか。今学期のまとめをしっかりと冬休みを迎えます。年末年始には家族の一員として、子ども達に家庭の仕事を受け持たせ、活躍させてください。そして「家族の役に立ってくれたね。」としっかりとほめてください。自己肯定感・自己有用感が高まります。3学期の始業式には、各家庭で活躍して成長した子ども達の姿に会えることを楽しみにしています。



大涌谷にて

6年生修学旅行 「いざ! 鎌倉・箱根」 仲間と絆を深めた2日間

11月11・12日 6年間花栗南小学校で学んで身につけてきたことを、実際の社会で仲間と共に活用してきました。事前の学習をしっかりと行い、計画したコースを班ごとに巡り、見学・学習しました。昼食も班で決めた店できり、支払いも自分たちで。鎌倉での4時間の班別行動は、目的の場所を地図で見つけたり、集合時間を気にしたりと仲間で協力しながら達成した、かけがえのない学びの時間となりました。温泉に入り寝食をともにして、すばらしい歴史的建造物や豊かな自然の風景に触れて、この二日間は5年生の自然教室とは、またひと味違う、仲間と共に過ごした大切な時間となりました。

あいさつじまん どくしょじまん そうじじまん